

2018年8月12日 主日礼拝

プレイズ

奏 楽

賛 美 讃美歌494番「我が行く道」

(God is working for my Good) (あなたは愛されるため)

ヤベツの祈り

聖 書 ①ヨハネによる福音書 1章1～5・14節 (p.135)

②ヨハネによる福音書 3章16節 (p.139)

音 楽 ①スペシャル映像

②ティム・ケプラー氏 & ニッコー・ロー女史

証 詞 ①扇谷美和姉(ルツ会)

メッセージ ①「ジェラシック・チャーチ2・創造論と進化論」

倉知契福牧師

②「永遠の笑い」 大川従道師

賛 美 「明日はどんな日か」(献金)

頌 栄 「主の祈り」 アーメン

祝 禱

「たとい人が全世界をもうけても、自分の命を損したら、
なんの得になろうか。また、人はどんな代価を払って、

その命を買い戻すことができようか。」

(マタイ十六の二十六)

【町田ニュース】

- ・ 本日午後5時から東京カルバリーチャペル。説教はバアンテ・ポーマン師ご夫妻。
- ・ 朝6時から「**早天祈禱会**」が祝されています(今週は月、木、金、土)。火曜、水曜は都合のためにお休みです。お間違えないように。
- ・ 今週も祈禱会を大切に(Y)。水曜夜は菅原岳先生、木曜朝は佐々木伝道師、金曜夜は原田捕教師が説教。
- ・ 今週も宿題に従って、**聖書通読・Q.T.**しましょう。



畑の中の宝物

先週から「ジェラシック・チャーチ 創造論と進化論」というタイトルで、倉知契副牧師がメッセージをされています。私もいつかは取り組みなければならないと思っていたテーマであるがゆえ、とても興味深く感じています。倉知先生はこのテーマを語るために数十冊の本で学んでこられたというのですから、その熱意と凝縮されたメッセージに耳を傾けなければいけないと思わされます。

私もそこで紹介された2冊の本を取り寄せて学んでいる最中です。中でもノベル賞受賞者である山中伸弥さんと益川敏英さんの対話は貴重なものです。

山中氏「アメリカでは今も人口の半分は進化論を信じてないといわれます。」

益川氏「そういうことを聞くと、日本人は進化論を信じないなんて怖いと感じるかもしれませんが、実は進化論を信じるのもある意味で怖いことなのです。」

山中氏「はい。進化論は未だ証明されていないからなのです。なぜか日本人はみんな猿から進化したと信じていますが、証明されていない。」

益川氏「人は猿から進化したのか、それとも神が創ったかと聞かれれば、日本人はなんとなく猿から進化したと信じていますが、それは何の根拠もないわけです。」

山中氏「そのうち、ダーウィンの進化論は間違いだったということになるかもしれません。」

また、名古屋大学名誉教授・素粒子物理学者であり、カトリック名古屋司教区助祭である三田一朗著「科学者はなぜ神を信じるのか」(講談社)の序論では、

国連のある調査では、過去300年間に大きな業績を上げた世界中の科学者300人のうち、8割ないし9割が神を信じていたそうです。

と書かれている。書物全体を通して、神を信じる信仰と科学は共存するものであることが、名を遺した歴史的科学者を挙げながら書かれている。

科学と信仰が衝突するかのようになっている日本人には貴重な説教です。

大塚 信頼

宿題(祝大) 今週もむさぼるように聖書を読みましょう。

Aコース:ローマ11章～16章 Bコース:詩編93篇～111篇